

1 号議案

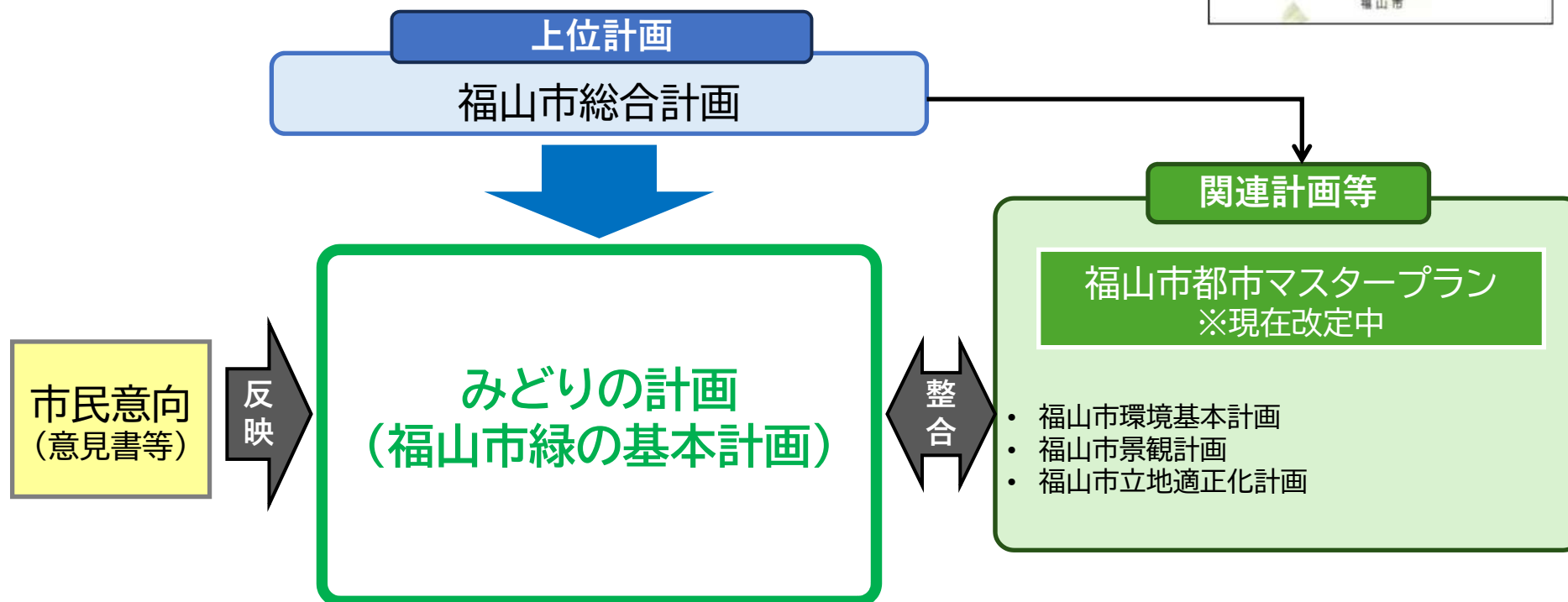
福山市緑の基本計画の改定について

1. 緑の基本計画とは 2
2. 現行計画の概要 4
3. 近年の社会的潮流など 7
4. 計画改定のイメージ 13
5. 計画改定のスケジュール（案） . . . 14

緑の基本計画とは

- 都市緑地法第4条に規定される計画。
- みどりのまちづくりを総合的かつ計画的に実施するための指針となる計画。

計画の位置づけ



これまでの経緯

2000年度(平成12年度)
「福山市緑の基本計画」策定



市町村合併に伴う市域拡大
を踏まえ、あらためて総合
計画や都市マスタープラン
と整合を図る

2009年度(平成21年度)
「福山市緑の基本計画」改定



都市緑地法及び都市公園
法の改正に伴い、公園の
管理に係る方針を追加
(Park-PFIの導入など)

2017年度(平成29年度)
「福山市緑の基本計画」改訂

現行計画の目標年次を
迎える中で、次期計画を
策定するもの



「福山市緑の基本計画」改定

基本理念

「守ろうみどり つくろう大地 育てよう心」

～みんなで作ろう 花とみどりのふるさと 福山～

基本方針

守ろうみどり
つくろう大地
育てよう心

ふるさとのみどりを守り活かせます【緑地の保全・活用】

- ・都市の骨格の形成
- ・特徴的なみどりの保全・再生
- ・優れた農地の保全・活用

みどりとふれあう場をつくり維持します【緑地の創出・維持】

- ・日常的な利活用に資するみどりの整備・維持
- ・特徴のある拠点・回廊のみどりの創出
- ・安心・安全な市街地の形成

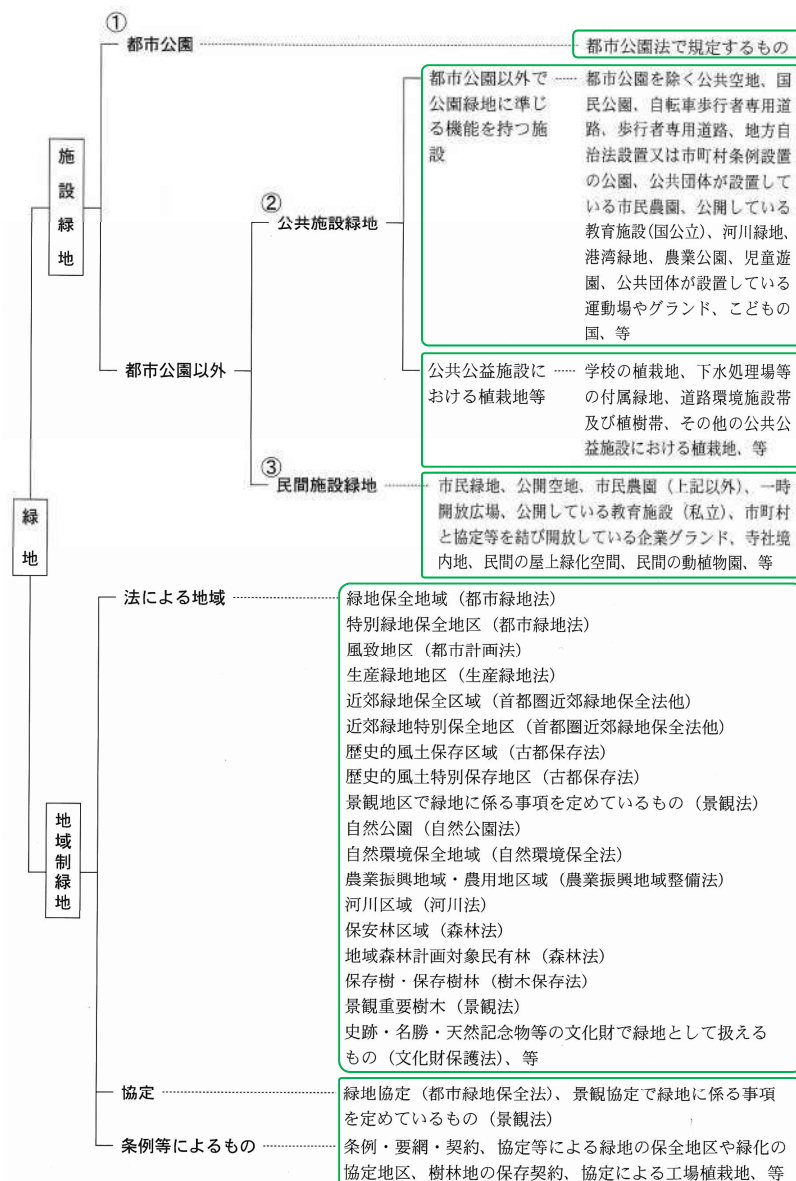
「花とみどり」のまちを育てます【緑化の推進】

- ・公共施設の緑化推進
- ・民有地の緑化促進

みどりの輪を広げます【普及・展開】

- ・みどりを育む心の普及・展開
- ・まちを愛する心で協働のまちづくり

対象とするみどり



ばら公園(近隣公園)



宝町公園(街区公園)



本郷川の親水空間



市役所本庁舎の屋上緑化



街路樹(福山駅大門線)



芦田川の親水空間



風致地区(草戸山)



一団の優良農地(駅家町)



道三川の親水空間



瀬戸内海内国公園



山野峡県立自然公園



福山大学内の緑



緑地協定を結ぶ住宅街



事業所の緩衝緑地



寺社境内地の巨木

緑の目標値

a) 市街地のみどり



b) 市街地及び近郊における永続性のあるみどり



c) 都市公園等の確保目標



現行計画に基づく取り組み

福山市みどりのまちづくり条例の施行（2003年（平成15年）9月）



- 計画改定に際しては、時代に応じた緑の役割を再認識し、適切に反映させていくことが重要。
- 近年の社会的潮流や国の方針、関連計画等と整合を図る。

【押さえておくべき社会的潮流など】

①カーボンニュートラルの実現に向けた動向

②生物多様性の確保に向けた動向

③グリーンインフラの活用に向けた動向

④都市における緑地の保全及び緑化の推進に関する基本的な方針

⑤その他（都市の魅力向上、地域活性化、立地適正化計画、公園整備基本方針等）

3. 近年の社会的潮流など

9

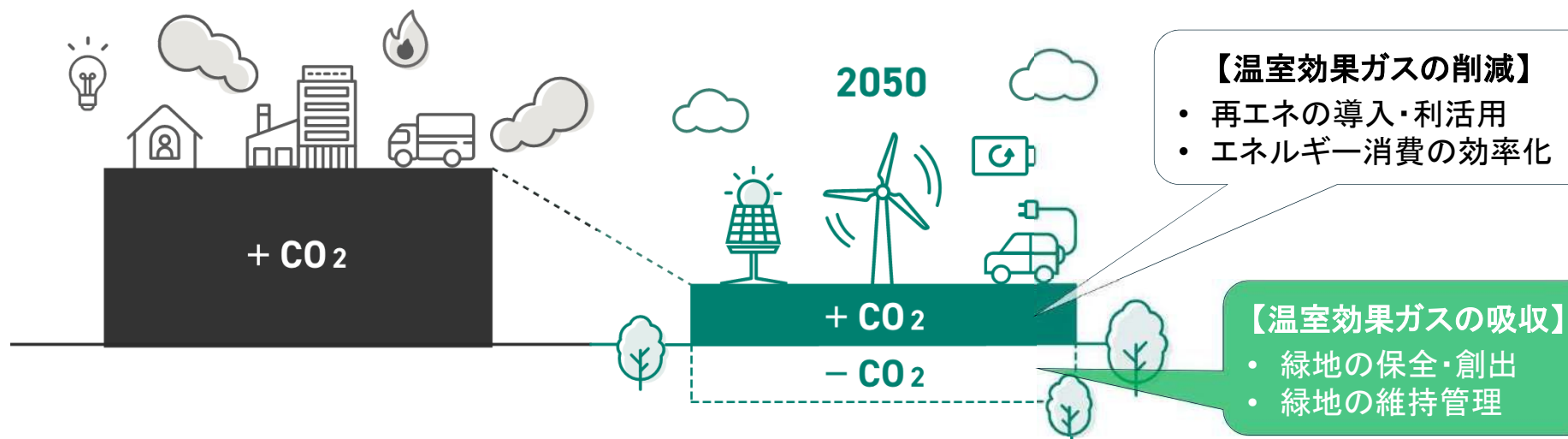
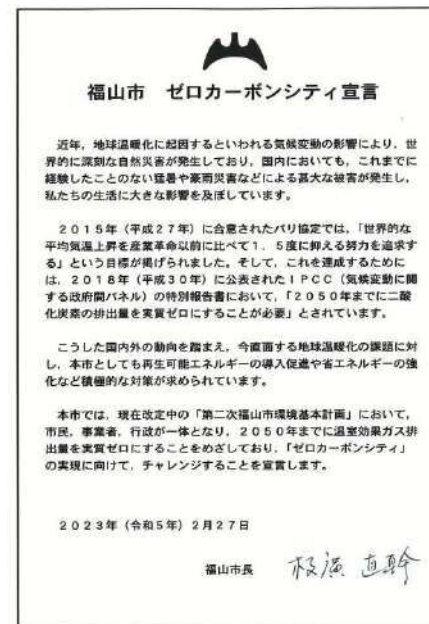
① カーボンニュートラルの実現に向けた動向

【カーボンニュートラル】温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。

【ゼロカーボン】温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、その排出量を実質的にゼロにする概念。または、この実現に向けた取り組みのこと。

- 2050年カーボンニュートラル宣言（2020年10月）
- 国土交通グリーンチャレンジ（令和3年7月、国土交通省）
- 福山市ゼロカーボンシティ宣言（2023年（令和5年）2月）

緑のまちづくりや公園整備においても、ゼロカーボンに向けた取組が求められる。



↑カーボンニュートラルのイメージ

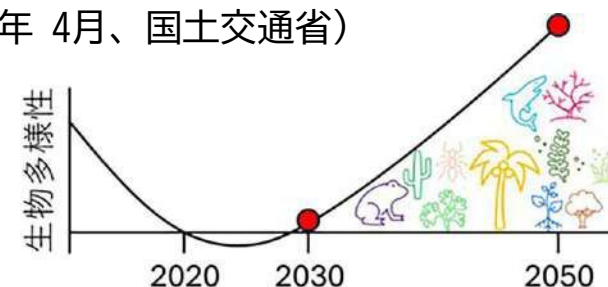
出典：「環境省HP(脱炭素ポータル_カーボンニュートラルとは)」(https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/about/、令和7年6月20日閲覧)を参考に作成

② 生物多様性の確保に向けた動向

【生物多様性】生物の種類等が豊富で、バランスが保たれていること。様々な生物が相互に影響しあっている生態系が地域ごとに多様であることも含む。
 【ネイチャーポジティブ】「2020年を基準として、2030年までに生物多様性の損失を食い止め、2050年までに完全な回復を達成する」という世界的な社会目標。

- 生物多様性に配慮した緑の基本計画策定の手引き（平成30年 4月、国土交通省）
- 生物多様性国家戦略2023-2030（令和5年3月、環境省）

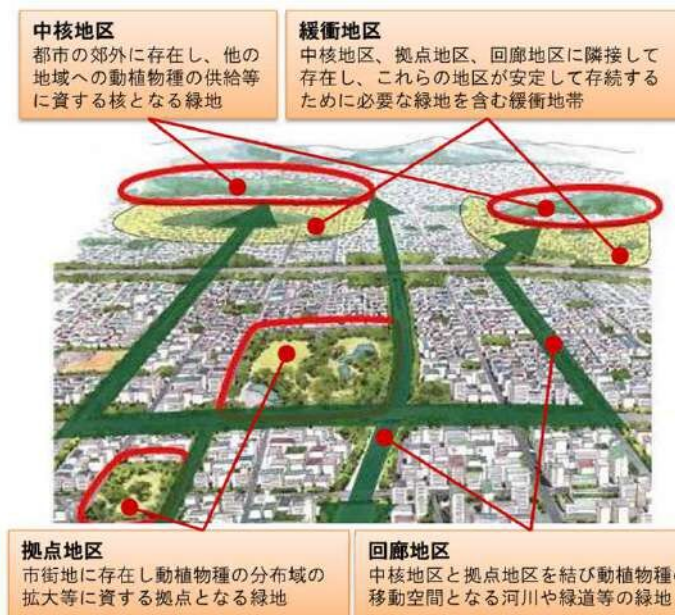
- ・ 緑の基本計画において生物多様性の確保を重要な柱として位置づけ、公園緑地等の整備や維持管理を推進
- ・ 関連部局と連携し、緑地によるエコロジカルネットワークを形成



ネイチャーポジティブのイメージ
 （出典：東京大学「ネイチャーポジティブ基金」HP）



↑ 生物多様性が豊かな都市のイメージ



↑ エコロジカルネットワークのイメージ

出典：両画像とも「生物多様性に配慮した緑の基本計画策定の手引き」（平成30年4月、国土交通省）

③ グリーンインフラの活用に向けた動向

【グリーンインフラ】自然環境が有する多面的な機能や仕組みをインフラ整備に活用するという考え方を基にした社会資本整備手法を表す言葉。都市気候の緩和、防災・減災、生活の質の向上、生態系の保全など、多様な都市課題の解決・改善への貢献が期待される。

【well-being】身体的・精神的な健康、社会的に良好な状態が確保された状態のこと。国土交通省では、グリーンインフラの多様な機能を発揮させることで、これらを実感できる地域づくりを進めることとしている。

- グリーンインフラ推進戦略2023（令和5年9月 国土交通省）
- 緑の基本計画×グリーンインフラガイドライン(案)（令和6年6月国土交通省）

緑の基本計画の改定を契機とし、グリーンインフラの考え方を取り入れること

【グリーンインフラの活用(事例)】

I 気候変動・防災・減災に関するもの



歩行者ネットワークの整備によるウォーカブルなまちづくり

南町田グランベリーパーク
(東京都阿田市)

II 緑と水の豊かな生活空間の形成に関するもの



食べられる都市緑化のモデル（屋上菜園）

Edible KAYABAEN project
(東京都中央区)

III 投資や人材を呼び込む都市空間の形成に関するもの



都市を再生しながら自然を再生

大手町の森
(東京都千代田区)

IV 生態系保全や地域振興に関するもの



緑地を活用した魅力あるまちづくり

麒麟ビール横浜工場
(神奈川県横浜市)

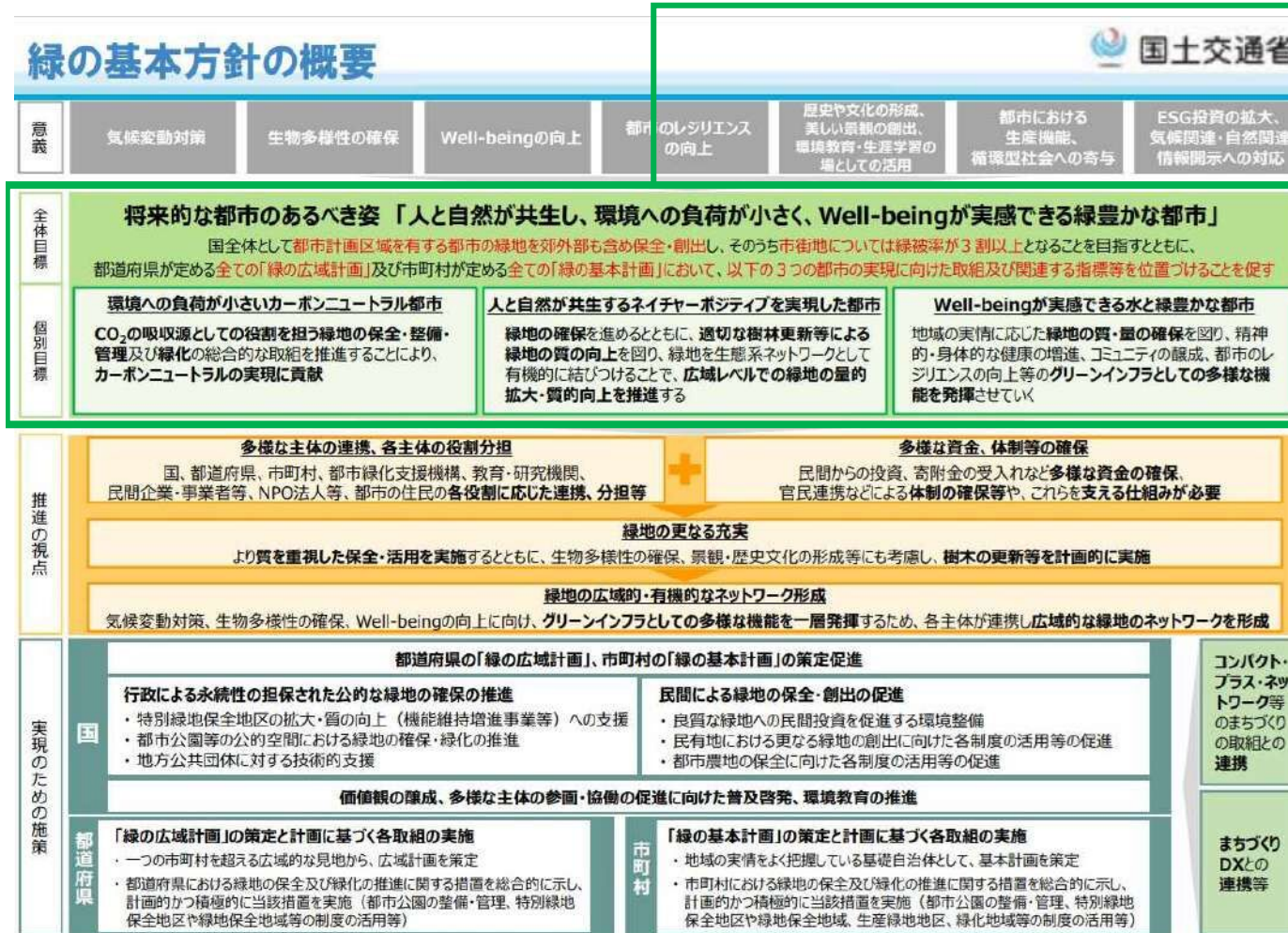
- 身体的・精神的な健康の増進
- 社会的に良好な状態の確保(都市のレジリエンス向上、コミュニティの醸成等)



出典:「グリーンインフラの推進について」(令和6年9月、国土交通省総合政策局環境政策課)を参考に作成

④ 都市における緑地の保全及び緑化の推進に関する基本方針（令和6年12月国土交通省）

令和6年の都市緑地法の改正に伴い、国が都市における緑地の保全等の取組を国家的な観点からより一層推進するため、「都市における緑地の保全及び緑化の推進に関する基本的な方針（緑の基本方針）」を定めることとされた。



【国が掲げる目標】

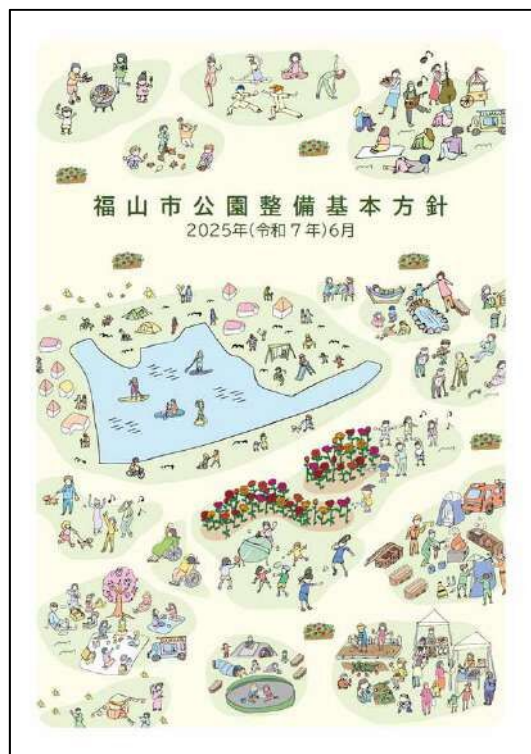
- ・ 市街地について緑被率3割以上
- ・ カーボンニュートラルの実現
- ・ ネイチャーポジティブの実現
- ・ Well-beingが実感できる水と緑豊かな都市の実現

上記の実現に向けた取り組み及び関連する指標等を計画内に位置づけることが国から示されている

⑤ その他

- 都市の魅力向上・地域活性化（ばらのまちづくり、福山駅前の再生）
- 福山市立地適正化計画（2025年（令和7年）4月一部改正）
- 福山市公園整備基本方針（2025年（令和7年）6月策定） など

福山市公園整備基本方針に基づく地域住民による公園活用事例

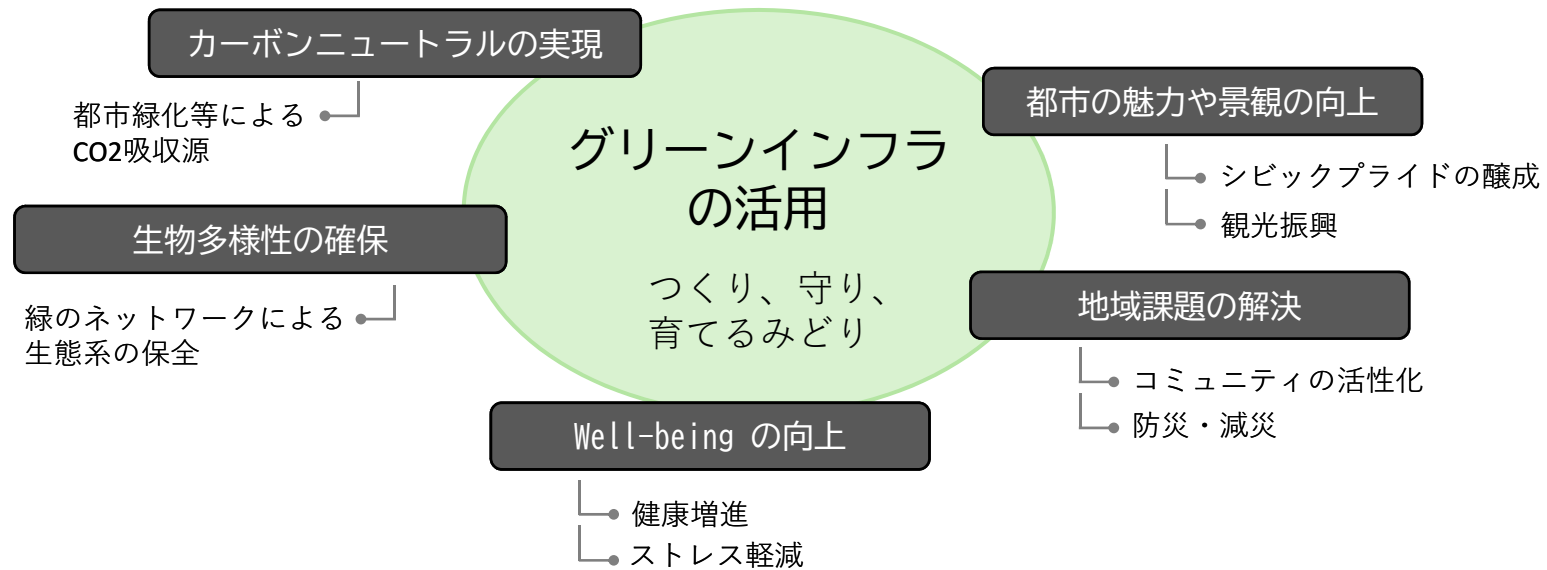


福山駅前再生ビジョン（平成30年3月）



世界バラ会議に合わせてリニューアルされたばら公園

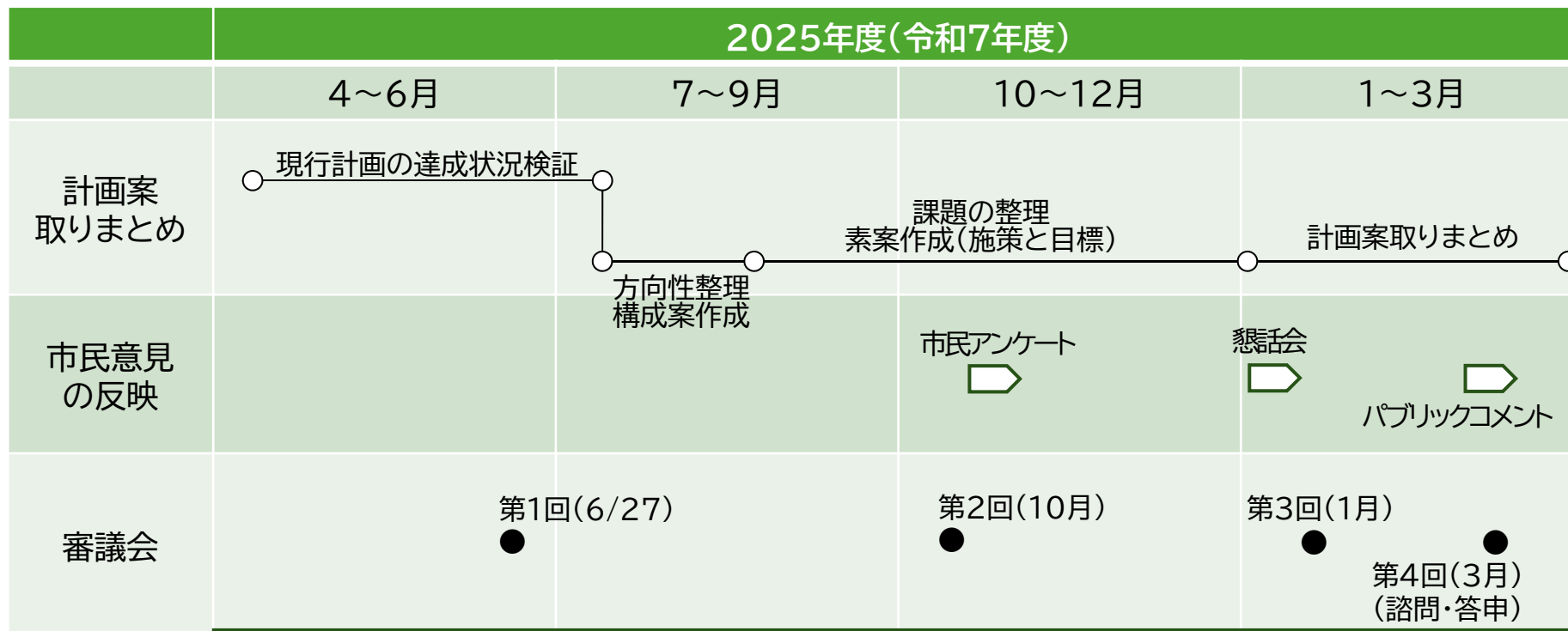
- 近年の社会的潮流（カーボンニュートラルの実現など）を踏まえた計画とする。
～ みどりが持つ様々な機能や効果を最大限に発揮し、まちの魅力向上（地域課題の解決）に繋げる～



5. 計画改定のスケジュール（案）

15

- 計画改定に向けて全4回の審議会の開催を予定。
- 次回審議会は令和7年10月開催予定。



開催	第1回	第2回	第3回	第4回
日時	2025(R7).6.27	2025(R7).10	2026(R8).1	2026(R8).3
協議事項	○緑を取り巻く近年の動向 ○計画改定の手順とスケジュール	○現行計画の達成状況の報告 ○市民アンケートの実施 ○計画改定の方方向性の整理 ○構成案	○市民意見の概要 ○課題の整理 ○計画(素案)	○パブリックコメント報告 ○計画(案)の諮問(答申)